

## 令和元年度第1回市原警察署協議会

### 1 開催日

令和元年6月27日（木曜日）

### 2 開催場所

市原警察署

### 3 出席者

・ 協議会委員 8人 ・ 警察署 14人

### 4 次第

- (1) 委嘱状交付式
- (2) 協議会委員及び警察署幹部自己紹介・業務説明
- (3) 警察署協議会に関する説明
- (4) 署長挨拶
- (5) 新会長及び新会長代理選任
- (6) 新会長及び新会長代理挨拶
- (7) 開会
- (8) 議題

市原警察署管内の治安情勢について

ア 刑法犯認知件数について

イ 交通事故発生状況について

- (9) 質疑・応答
- (10) 閉会

### 5 議題

市原警察署管内の治安情勢について

- (1) 刑法犯認知件数について

【警察説明】 それでは、まず、市原市内の刑法犯認知状況についてお話しさせていただきます。

各種抑止活動を推進した結果、5月末現在で、

768件

前年同期比マイナス170件（約18%）

と減少傾向が続いております。

なお、県下全体でも

16,968件

前年同期比マイナス2,236件（約12%）

と、市原市内よりその幅は小さいものの、同じく減少傾向となっております。

「電話de詐欺」についてであります。市原市内では、6月21日現在の暫定値で

19件発生

前年同期比プラスマイナスゼロ

となっており、被害総額は前年同期の約9,400万円よりは減少しているものの、それでも約2,900万円とけっして少なくない金額が被害に遭っていることから、まだまだ予断を許さない状況にあります。

県警では、コンビニATMなどにおいて、いわゆる「受け子スタイル」の者に対する積極的な職務質問による「検挙」と、被害に遭わないための広報啓発による「抑止」を車の両輪とした、一体となった対策を推進しているほか、各署で「電話d e 詐欺被害撲滅モデル地区」を設定して、「電話d e 詐欺は電話d e 対策」をキャッチフレーズとした固定電話機対策などの啓発活動を展開しているところであります。

以上が、刑法犯関係についてとなります。

**【委員質問1】**用語の部分で教えてもらいたいが、認知件数とはどういうことなのか。

**【警察回答1】**本来、発生件数といえば皆さまも分かりやすいと思いますが、事件が発生してもなかには届け出ない方もいらっしゃいます。被害を警察に届け出て、それを認知したという意味合いから「認知件数」としています。

## (2) 交通事故発生状況について

**【警察説明】**千葉県は死亡事故の多い県で、昨年中の死者数は186名、全国ワースト2位となっています。昨日現在では65名で全国ワースト1位となっており、2位は神奈川県、3位は埼玉県です。

市原警察署管内の5月末の人身事故発生状況については、発生件数が355件、負傷者が431人、死者が2名であり、昨年と比較して発生件数、負傷者数ともに増加傾向にあります。死者は前年比-1名と減少しています。

報道でも大きく取り上げられましたが、5月15日に発生した65歳の男性が運転する乗用車が公園に突入して、砂場で園児の付き添いをしていた保育士の方が重傷を負った事故については、現在も捜査中なので事故原因等の詳細はお話しできませんが、一步間違えば園児が事故に巻き込まれた事故であり、事案の全容を明らかにすべく全力で捜査しています。木更津市や滋賀県大津では、小学生や幼児が犠牲になる重大事故が発生したことは皆様のご記憶にも新しいことと思います。

当署としては、この様な悲惨な事故から子供を守るために、管内の保育園に出向いて保育士さんたちと一緒に散歩コースを点検し、危険箇所のアドバイスや車両止めポールの設置検討、横断旗やホイッスルの寄贈等を実施しています。

次に、春の全国交通安全運動キャンペーンについて説明します。5月11日(土)アリオ市原において、俳優「元木聖也」さんに一日警察署長をお願いして交通安全キャンペーンを実施しました。春の全国交通安全運動は新入学生を交通事故から守ることに重点を置いたもので、BSプレミアムの子供向け番組「お父さんと一緒」や怪盗戦隊ルパンレンジャ

一に主演して子供から人気のある俳優「元木聖也」さんに一日警察署長をお願いしたものです。

以上が市原警察署管内の交通情勢となりますが、今後も交通指導取締りや交通安全教育を推進して、悲惨な事故を1件でも多く減らす活動を展開して参りますので、引き続きご指導・ご鞭撻をお願い致します。

## 6 質疑・応答

**【委員質問1】**市原警察署が保有する車両のうち、ドライブレコーダーの設置状況を教えてもらいたい。

**【警察回答1】**市原警察署で保管管理している公用車41台のうち、約75%となる31台にドライブレコーダーが設置されています。

**【委員質問2】**自分は学校に勤務しており、日々、児童・生徒の安全安心に繋がる各種取組を行っているところである。交通安全運動期間中は多くの警察官が街頭監視で立ってくれて、大きな安心が得られ大変感謝している。

私たち教育関係者が抱える大きな不安・悩みと言えはやはり不審者への対応であろう。校内に入ってこられた際の対応策はどうしたものかと困っている。生活安全課のご協力をいただきながら年に1回、不審者対応訓練を行ってもらっているが、不審者の動きは様々なケースがあり対応が大変難しい。

また、対応の道具として刺股の使用について指導してもらい、非常に勉強になった。刺股以外にはどのような道具が有効なのか教えていただきたい。また、どのような対応をすれば不審者は怯むのか、事例があれば教えていただきたい。

**【警察回答2】**不審者侵入対応訓練については、幼稚園や学校、事業所等で行っており、これからも要望があれば積極的に実施していきたいと考えております。

有効な道具の使用や対応方法については各種事案内容により分かれるところであります。警察では楯を使用することもあります。果たして女性の先生に使いこなせるかという問題もあります。今後の訓練等で訪れた際に、担当係から個々具体的に説明させていただければと思います。

## 市原警察署協議会開催状況



【委嘱状交付】



【署長挨拶】



【新会長挨拶】



【新会長代理挨拶】



【委員質問】



【警察回答】